

形や色と豊かに関わり、新たにつくりだす造形活動

名古屋市立自由ヶ丘小学校 宮城島喜弘

I 研究のねらい

多くの形や色と関わりながら自分の思いを生き生きと表現する活動に重点をおき、新たな形や色に気づき、つくりだすことで、今後の人生においても、試行錯誤をしながら自分の思いを豊かに表したり、友達の考えを大切にしたりする素地を培うことができる考える。以上を踏まえ、主題に迫るための手立てを次の2つとした。

- ① 材料や場、用具を児童が思いのままに使えるような場の工夫
- ② 友達と積極的に関わりながらつくるような場の工夫

II 研究の内容

実践1 「ジャンジャンジャカジャカ楽器をつくろう」

空き箱やペットボトルなどの組み合わせを考えて楽器の土台をつくり、輪ゴムや毛糸など飾りつけによって新たな形や色を見付けていく題材



(接着を試し)
うまくつくかな。



上のひらひらが
カラフルでいいね。

(友達と関わり) この
ギターすごいでしょ。

実践2 「変身しよう!こんな自分は初めてだ」

紙テープやカラーテープ、毛糸、ひもなどをつなげたり輪にしたりしながら衣装のように身に付け変身していくことを楽しむ題材



つるつるのテープと
細長い紙を組み合わせ
てみようかな。

これは透明の青だな
あ。ひもが透けて見
えるぞ。



この飾りかわいい
ね。私もやってみよ
うかな。

私がつくった
の、どうかな
あ。

III 研究のまとめ

材料が豊富にあることで子どもたちの発想が広がり、友達と関わることで、新たな形や色に気づき、様々な組み合わせに挑戦しようという主体的に関わる姿が、少しずつ培われていくのだと実感した。また、用具の正しい使い方や試しながら使うことを繰り返し知識と技能の確かな習得が、感性や創造力を培っていくことを実感した。様々な関わりを重視し、子どもの実態に応じた場の設定を、今後も熟考していきたい。

“自分色”を豊かに表現する造形活動

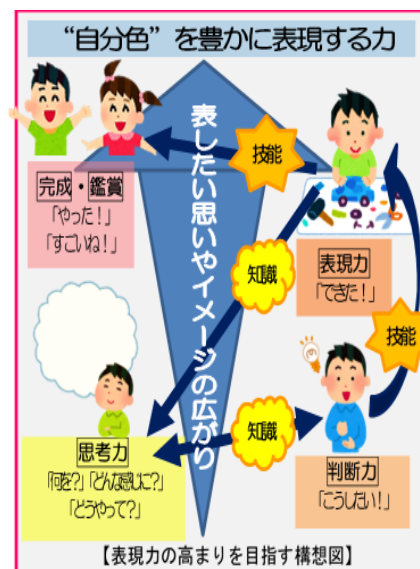
— 知識及び技能の習得を大切に —

名古屋市立明正小学校 大島 聖矢

I 研究のねらい

子どもたちの豊かな感性を引き出し、確かな知識と技能を培い、つくりだす喜びを十分に味わうことができるようにすることで、今後の人生においても、“自分色”を豊かに表したり、“君色”を大切にしたりする素地を培うことができるようになる。以上を踏まえ、主題に迫るための手立てを次の2つとした。

- ① 「知識」や「技能」の習得により、発想・構想と表現を繰り返しながら、“自分色”を豊かに表現することができるような、視点の提示や場の工夫
- ② 自身の学びの歩みを視覚化し、課題解決力の育成や、達成感の拡大を図るワークシートの活用



II 研究の内容

実践1 「アルミ×(針金+缶)=!?(5年)

アルミ針金とアルミ缶の加工を試しながら、組み合わせを考えて、立体に表す題材



アルミ缶や針金の加工をいろいろ試したよ



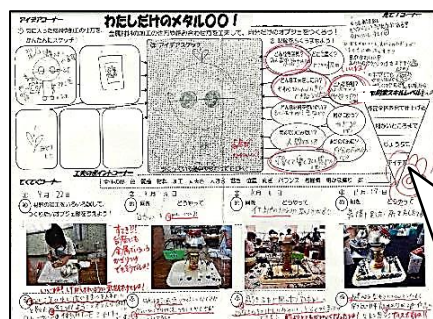
組み合わせ方を工夫したよ



バランスを意識して、『自分色』を表したよ

実践2 「わたしだけのメタルOO!!」(6年)

家庭で集めた廃材や給食の古食器を組み合わせ、オブジェをつくる題材



コンプリでは、試した材料や接着方法、アイデア、組み合わせ方など、完成までの学びの歩みを一枚にまとめられるぞ



材料の加工に試行錯誤したけど、接着はうまくいったので、『自分色』が表現できて、うれしい!

III 研究のまとめ

造形的な知識や技能は、教師からの視点やコツの提示と、子どもたちの実体験を基に、少しずつ培われていくものだと実感した。だが、知識と技能の確かな習得が、感性や創造力を培い、豊かな“自分色”の表現につながることも実感することができた。何をいつ、どのように教えるのか、今後も熟考していきたい。

自分の考えをもち、豊かに表現することができる造形活動

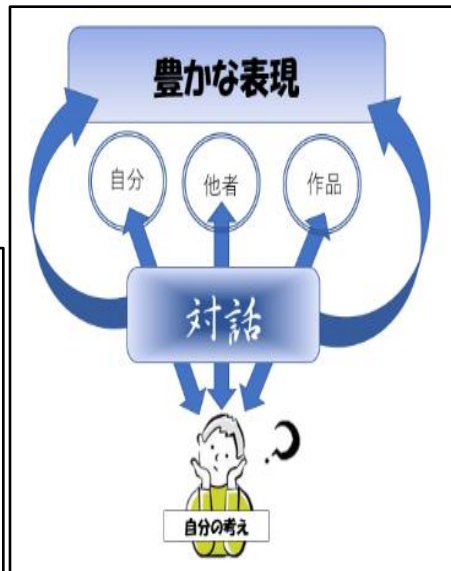
— 自分・他者・作品との対話を通して —

名古屋市立桜田中学校 田中佐知

I 研究のねらい

生徒一人一人が自分の考えをもち、豊かに表現するには、「対話」が必要だと考える。造形的な見方や考え方を働かせながら新たな考えや表現を生み出す生徒の育成を目指す。以上を踏まえ、主題に迫るための手立てを次の3つとした。

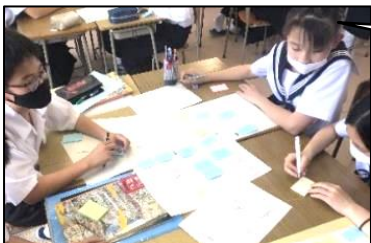
- ① 自分との対話—考え明確化タイム— 表現方法を試し、自分の考えを明確にする
- ② 他者との対話—考え更新タイム— アイデアを交換したり、作品を紹介したりして、自分の表現に自信がもてるようにする。
- ③ 作品との対話—考え表現タイム— 制作カードやタブレットを活用し、作品の変容を振り返る。



II 研究の内容

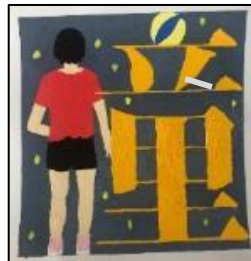
実践1 「伝わる絵文字」

グループでの話し合いから生まれたテーマを基に、個々が連想した漢字を文字が意味するものの形や色とレタリングで構成する題材



この考えいいね！

ありがとう。
もっと工夫してみるよ。



【完成作品】
「学校」のテーマ
に制作
『憧れの先輩』

実践2 「学校の象徴～桜田中のモニュメント～」

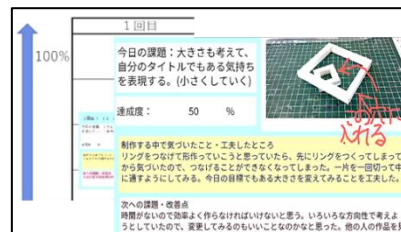
紙の抽象彫刻として学校の象徴を表現する題材



フィッシュボーンツール
で自分と対話する



ロイロノートで他者と
対話する



毎時、振り返りカードで、
作品と対話する

III 研究のまとめ

三つの対話が循環し、絶えず対話を繰り返すことで豊かに表現することへとつながっていくことを実践から改めて実感した。今後も三つの対話に重点を置き、どの場面での対話を重点的に行っていくかを考え、自分の考えをもち、豊かに表現する生徒を育てたい。

あつまれ！ことば虫

名古屋市立御園小学校 伊藤 智美

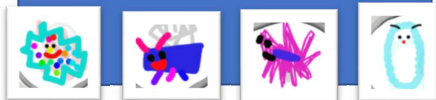
☆「カクカク・モクモク・フワフワ」などの言葉を「形や色」で表現しよう！

学びの目標

- 言葉から受けるイメージに合った形や色を見つけて、形や色の組み合わせ方を工夫している。
- 言葉から受けるイメージからつくりたい虫を思い付き、形や色をどのように組み合わせるのか考えている。
- 言葉から想像を広げて、描くことを楽しむ。

「ことば虫」とは？

言葉の世界から飛び出してきた虫です。
言葉のイメージに合わせて自由に形や色
を変えることができます！



めざせ！アイデア名人

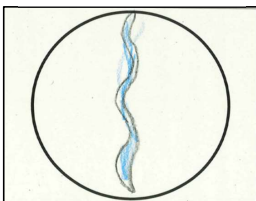
形や色について自由に考えて発想する楽しさや面白さを味わおう！

「ぼたぼた」ってどんな形？

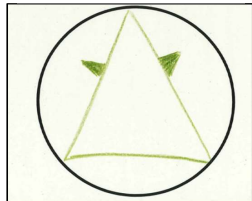
水のしずくをイメージしてみたよ！

もっと考えてみよう！

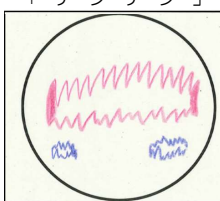
「にょろにょろ」



「カクカク」



「チクチク」



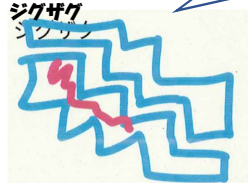
タブレット端末も使ってみよう

いろいろな形や色を組み合わせても面白い

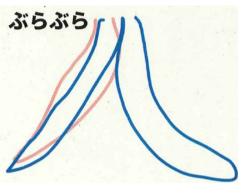
とげとげ



ジグザグ
ジグザグ



ぶらぶら



じっくり考え、ひらめきタイム

みんなでアイデアを共有して、発想を広げよう！

まずは自分でじっくり考えて…

じっくり考え、ひらめきタイム

みんなでアイデアを共有しよう



自分の考えを発表する子ども



互いのアイデアを見比べる活動



いいところを見つけて伝える活動

アドバイス

「考える」→「共有する」活動を繰り返すことを通して、友達の作品をじっくり鑑賞する力を育てよう。

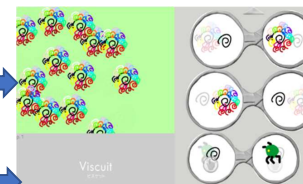
「ことばのかたち」

あつまれ！ことば虫

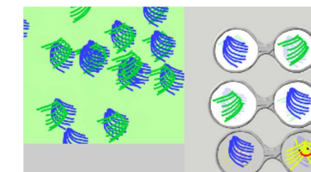
プログラミングソフト Viscuit を使って

「めざせ！アイデア名人」で
集めたアイデアを生かして

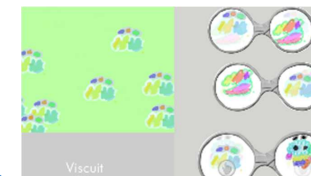
「言葉の形が動き出した
ら面白いよね」というひら
めき。



トゲトゲが出たり入ったりする
工夫をした作品



ブラブラを二つの絵が重なる工夫
をした作品



フワフワ。透明色を使って表現した
作品



Viscuit の操作を仲間と理解し、
言葉に合った「動き」をどんどん
と考え出す姿



出来上がった作品を試したり、
面白さを伝え合ったりする様子

ぼくたち 生き物発見隊！

名古屋市立極楽小学校 小澤 里沙

学校のいろいろなところに、生きものが隠れているよ。

「生き物の発見隊」になって、生き物を見付けに行こう！



【学びの目標】

- 生きものに見える形や色に気付く。
- 生きものに見える形や色の面白さを味わう。
- 生きものに見える形や色を見付けることを楽しむ。

生き物の発見タイム

① タブレット端末を持って、隠れている生き物を見付けたら写真を撮ろう。

【生き物の発見ポイント】

- 形や色に注目しよう！
- いろいろな向きでよく見てみよう！



生きもの
いるかなあ…。

まずは教室で
探してみよう！



ヘルメットがカメの
甲羅みたいだな。

★ 見付けた生きものを「生きもののほうこく書」にまとめよう！

他の場所でも
見付けたいな！



「生きもののほうこく書」

ものの名前 (あれば)	見つけた生きもの	ちゅうもくしたところ (かたち・色)
テープ	カイ	テープをきる ところかっつめ かたちに見えた



生きもののかきかきタイム

② 見付けた生きものの写真にお絵描きしよう。

【生きもののかきかきポイント】

- 「ピクチャーキッズ」を使ってお絵描きをしよう！
- ものの形や色を活かすために、塗り潰さず、必ず線で描こう！



配膳台のタイヤに
カタツムリの殻の線を
くるくる付け足して
みたよ！



甲羅の線と顔、足を付け足して…
もっとカメに見えてきたよ！

★ お絵描きが終わったら、「スクイメニュー」のシンプルスライドを使って「生きもののほうこくタイム」の準備をしよう！



生きもののほうこくタイム

③ 見付けた生きものをグループの友達と発表し合おう。



あー確かに！
ぼくもゾウに
見えてきたよ！

わたしはゾウを見付けました。
場所は運動場で、滑り台が
ゾウの長い鼻に見えました！



④ お絵描きした作品を印刷して、「生きもののマップ」をつくろう。



★ マップが完成したら、学校内を回って友達が見立てた生き物を見付けに行こう！

どんな絵？どんな模様？

～ICTを使った鑑賞活動～

名古屋市立松原小学校 坂 泉美

ICT（ロイロノート）を利用して自分オリジナルのカードをつくり、クラスやグループでアート・ゲームをしてみよう！

学びの目標

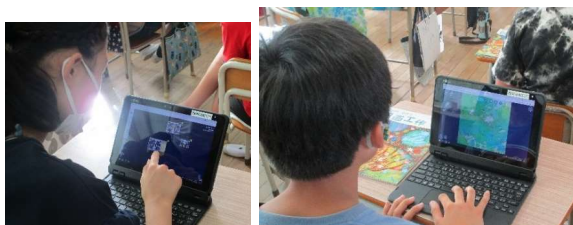
- 自分の感覚や行為を通して、動き・バランス・色などの造形的な特徴を理解することができる。
- カードに表現された形や色などの特徴から自分なりのイメージをもち、自分の見方や感じ方を深めることができる。
- 友達と交流しながらアート・ゲームに楽しく取り組み、カードのよさや美しさを感じ取っている。

① カードづくり

- ・ 自分の好きなカードを選ぶ

※好きな部分をトリミングしてもOK

1学期題材の『心のもよう』でつくったおとしカードや作品を利用しました



↑タブレットでカードをトリミングしている様子

② アートゲーム

マッチングゲーム

- ①班でつくったカードを共有する
- ②似ているカードを集めてグループカードを作る
- ③クラス全体で、グループカードを見合う



↑マッチングゲームで作ったカード

カードから想像したもので分けたグループカード→
↓画材や技法に着目して作ったカード



色、形、技法、筆あと、想像できるものなどでグループ分けをしていました。

キーワードゲーム

- ①「楽しい」「寒い」など、提示されたキーワードに合うカードを選ぶ
- ②提出してクラス全体で選んだカードを共有する
- ③集まったカードを比較する



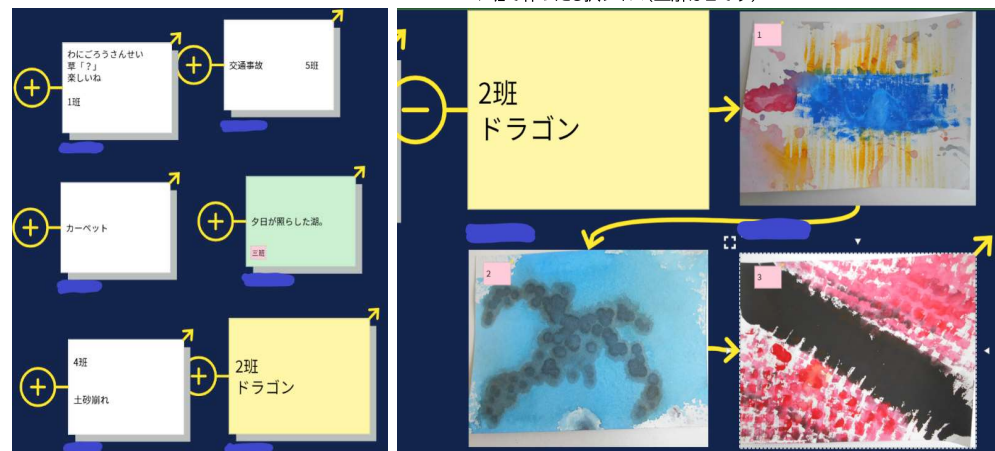
「寒い」→青系の色が多い、水っぽい
「はずむ」→丸い形、にぎやか、カラフルなど共通点を見付けていました。

↑キーワードゲームで共有したカード

↓グループでクイズで使うカードを選んでいる様子



↓班で作った3択クイズ(正解は2です)



↑各班が考えた題名

—ICTの有効性—(本実践ではロイロノートを使用)

- ・ グループ分けをしたり、比較したりすることが簡単にできる。
- ・ 一人一人が手元で拡大したりしながらじっくりとカードを見ることができる。
- ・ 全員の意見を一齐にスクリーンに映し、クラス全体で共有することができる。

トリックピクチャー

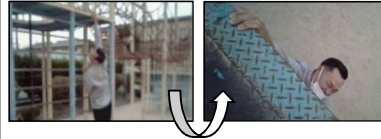
名古屋市立大森小学校 山田 祥太郎

身の周りにある日常の風景。そんな日常の中にトリックを仕込んで、見る人をアッと驚かせる不思議な写真を撮影しよう！

学びの目標

- 視点やカメラの角度を変えたり、奥行きを生かしたりして、工夫して写真を撮影する。
- 場所の特徴を元に、表したいものをどのように表すか考える。
- 見る人をアッと驚かせる不思議な写真を撮る活動を楽しむ。

同じ被写体でも、写真を撮影する視点を変えるだけで雰囲気が一変します。さらに、撮影するタイミングや奥行きを生かすことで、現実にはあり得ない写真を撮影することができます。



① どのような写真を撮影するか考えよう。

学校の中にある場所や道具を生かして、どのような写真を撮影するのか考えよう。

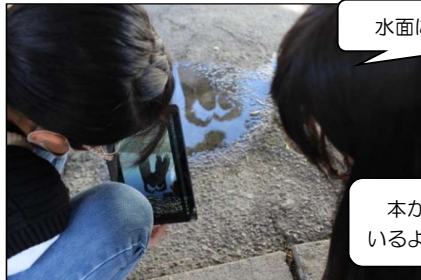


大森小学校にあるえのきの木を生かして写真が撮れないかな。



② 友達と協力して写真を撮影しよう。

考えた写真を実際に撮影しよう。



水面に映る姿がいいね！



本から人が飛び出てきているような写真が撮りたいな。

どんな写真を撮るかはなるべく秘密にしておこう

何度も確認して、ベストな1枚を撮ろう



撮るタイミングを少し早く！



もう少しポーズを合わせよう！



【ライダーキック】



【かけから、はいチーズ】



【巨人に踏みつぶされそうな人】

児童の作品



【本から出てきている人】

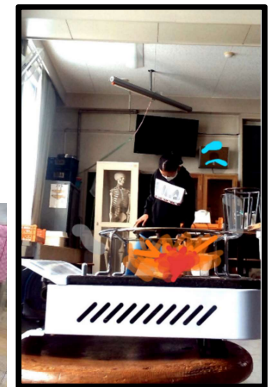


【おじにつぶされてしまう】

③ 鑑賞しよう。

友達が撮影したトリックピクチャーを鑑賞しよう。

- ◇ 写真にタイトルを付けて、どのようなテーマで撮影したかわかるようにしよう。
- ◇ トリミングしたり、イラストを付け加えたりするなど、撮影した写真を加工して、よりテーマが伝わるようにしてもいいね。



【火に当たってしまう私】

アーティスト

画家からの挑戦状

— あたらしい絵画表現を生み出す —

名古屋市立天神山中学校 秋田 友加

「美術作品って何がいいのかわからない」という声をよく耳にします。しかし、「分からないからこそ自分なりに解釈ができる」「一人一人違った見方や考え方をすることができるからこそ、面白い」。そのようなところに美術のよさ、面白さ、また表現すること、鑑賞することの魅力があると考えています。

本題材の導入では、教科書2・3上の「なんでこれが美術なの？」という作品を鑑賞しました。そこで、現代美術とは、作品のみではなく、表現に至るまでの作者の深い思いや、制作過程なども含まれることを学習しました。その上で、主題や作者の思い、考えなどを自由に捉えること、また、抽象表現を体験し、鑑賞することで“正解のない面白さ”を探究させたいと考えました。

挑戦1 抽象表現で広げよう！

感情や印象などの、目には見えないものをテーマに主題を生み出し、色鉛筆でスケッチを描いた。イメージに合った形や色彩を表現した。

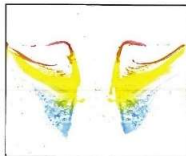


主題 → 表現
をもとに を考える

挑戦2 モダンテクニックから深めよう！

9×7.5cmのカードに、モダンテクニックの技法を試した。偶然を生かした表現や意図的な表現から主題を生み出し、イメージを膨らませた。

【ストリング】



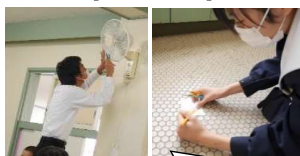
【ストリング】
【表現のイメージ】
「空を飛ぶ鳥」をイメージして、糸で鳥の形を作った。糸の色や配置で、鳥の動きや感情を表現した。

【コラージュ】



【コラージュ】
【表現のイメージ】
「自然の力」をイメージして、紙や布を貼って自然の力を表現した。

【フロタージュ】



【フロタージュ】
【表現のイメージ】
「床や扇風機」をイメージして、紙を貼って床や扇風機の形を作った。

【マーブリング】



【マーブリング】
【表現のイメージ】
「友達」をイメージして、紙を貼って友達の形を作った。

【デカルコマニー】



【デカルコマニー】
【表現のイメージ】
「空」をイメージして、紙を貼って空の形を作った。

【ドリップング】



【ドリップング】
【表現のイメージ】
「雨」をイメージして、紙を貼って雨の形を作った。

【スパッタリング】



【スパッタリング】
【表現のイメージ】
「ちぎった紙を無造作に置いてみた」をイメージして、紙を貼ってちぎった紙の形を作った。

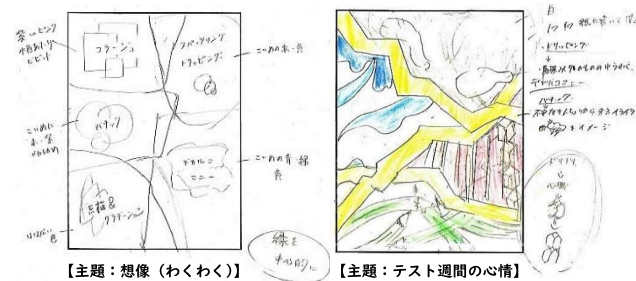
【バチックや吹き流しなど、いろいろ試しました！】



【バチックや吹き流しなど、いろいろ試しました！】
【表現のイメージ】
「友達」をイメージして、紙を貼って友達の形を作った。

挑戦3 作品構成！

抽象表現やモダンテクニックを通して、表現したいと感じたことを主題とし、制作のための構想を練った。技法名や印象や感情などのイメージを捉えながら、アイデアを表出していた。



【主題：想像(わくわく)】

【主題：テスト週間の心情】

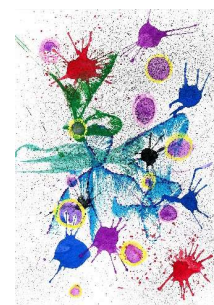


構成をする前に、挑戦1・2の表現を相互鑑賞し、主な形を色鉛筆でスケッチしながら、新しい表現を見つけてみよう

【鑑賞メモ】



生徒作品 想像(わくわく)
作者の言葉
想像豊かな様子を表すために緑を多く使い、ひらめきの黄色、わくわくの赤などイメージに合う色づかいをして、頭の中を考えている様子を絵にしました。



生徒作品 アプサン
作者の言葉
お酒をモチーフに、飲んだ後に様々な感情がだげさになっていく様子を表現した。タイトルのアプサンはアルコール度数の高いお酒。

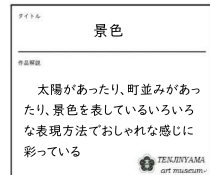
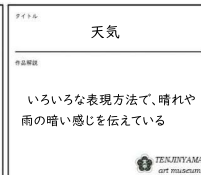
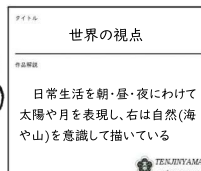
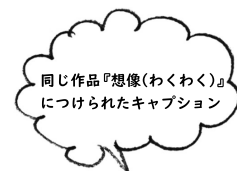


生徒作品 せまりくる地震
作者の言葉
下部は、迫り来る地震を表すために、震央を表す揺れと津波を表した。真ん中には、多くの犠牲を表すために、血と魂を表し、上部は、恐怖を表すために、暗い雰囲気にした。



生徒作品 好きなこと
作者の言葉
好きなことをするのはとっても楽しいけれど、好きだからこそ誰かと比べて落ち込んだり、上手にできなくて嫌になったりする。そんな気持ちを表した。

挑戦4 作品のよさを解説しよう！



ペアで互いの作品を鑑賞し、主題を捉えながら、キャプションに作品のタイトルや解説を想像して記入した。その後、自分なりの見方や感じ方で、思いや考えを伝え合った。全体鑑賞でも、気になった作品にキャプションを記入し、見方や感じ方を深めながら、また自分の見方や感じ方を大切にしながら、よさや美しさを味わった。

自分の作品を、他の人に解説してもらうことで、新しい見方に気付きました

【題材をおえて(振り返りシートより)】

・クラス作品を鑑賞して、自分でタイトルや解説を考え、あとで作者に確認することで、違う見方や考え方ができて面白かった。
・「どうしてこのようなものが美術なの?」と、最初は思っても、じっくりよく見ること、「このような思いがあるのでは?」と伝わり、ワクワクしながら鑑賞できた。
・みんなの作品のキャプションを考えているうちに、自然と笑顔になっていて楽しかった。